

社団法人中部電気管理技術者協会
平成24年度電気技術研修会資料

東日本大震災と電気管理技術者

平成25年2月27日

一般社団法人東北電気管理技術者協会

東日本大震災と電気管理技術者

(一社)東北電気管理技術者協会

副会長 山戸 義雄

御礼申し上げます。

- このたびの震災におきましては多大な義援金をはじめ激励支援を頂きました事に御礼申し上げます。
- 幸いにも今回の震災では死者、行方不明者は一人もでませんでした。

本日の講習内容について

- 1. 震災状況紹介ビデオ鑑賞(30分)
- 2. 災害状況の説明
- 3. 今後の対策と反省

災害発生日時

- 平成23年3月11日 午後2時46分
- 三陸沖を震源とする地震でM9
- 震度7石巻市は6強の地震でした。
- 津波は午後3時26分頃に8.4m以上(石巻市鮎川)で地形によっては数倍の高さに達していました。

被害状況(全国)

- 死者 15871名
 - 行方不明者 2778名
 - 負傷者 6114名
- (2012/10/17現在)
- 当協会会員は奇跡的に全員が無事でした。

• これから震災状況のDVDビデオを見て頂きます。

• 30分間の予定です。

- ここで詳しい状況のスライドを見て頂きます。

電力の変電所の被害写真



仮設移動変台



仮設移動変台



変電所破損した設備



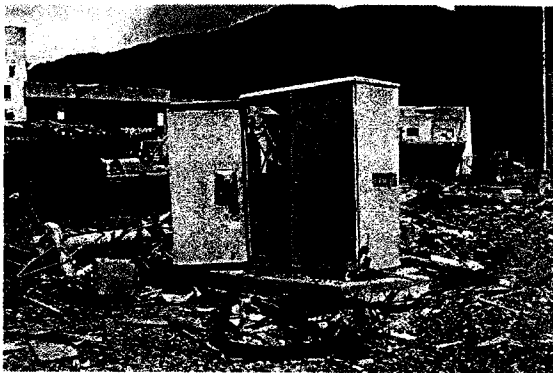
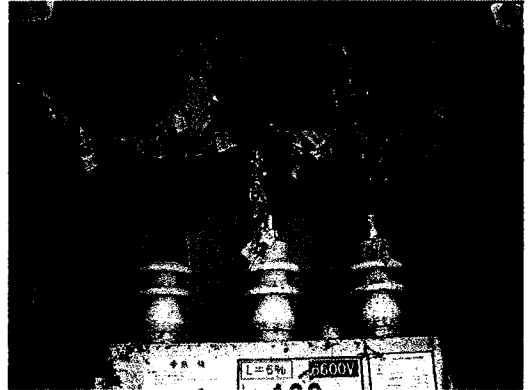
自家用受電設備の被害

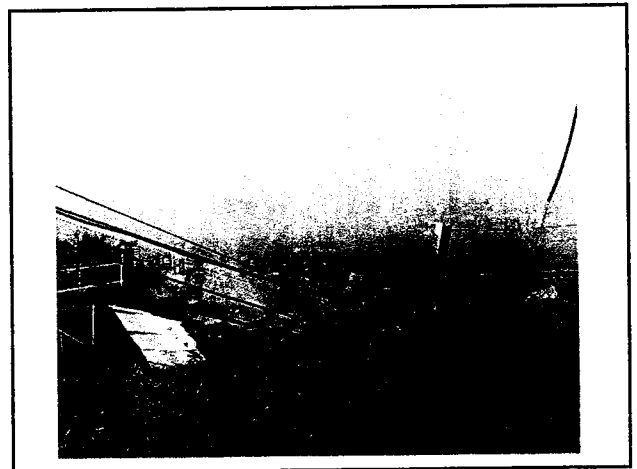
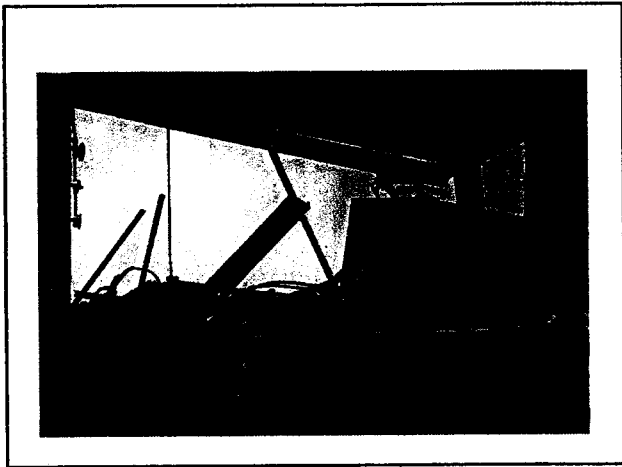
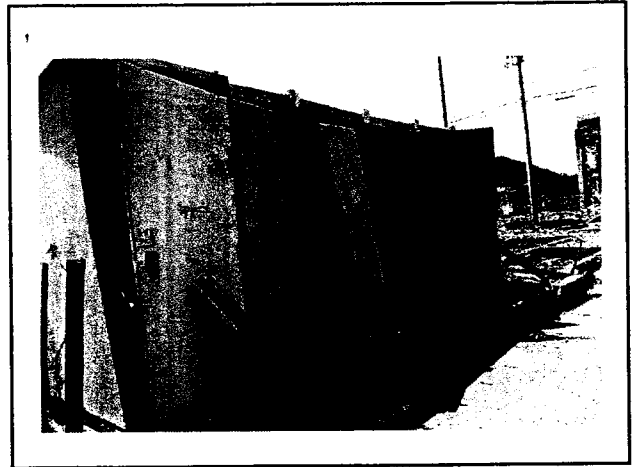
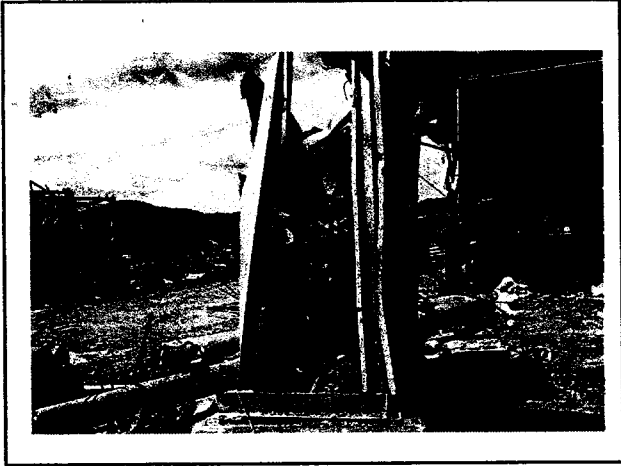


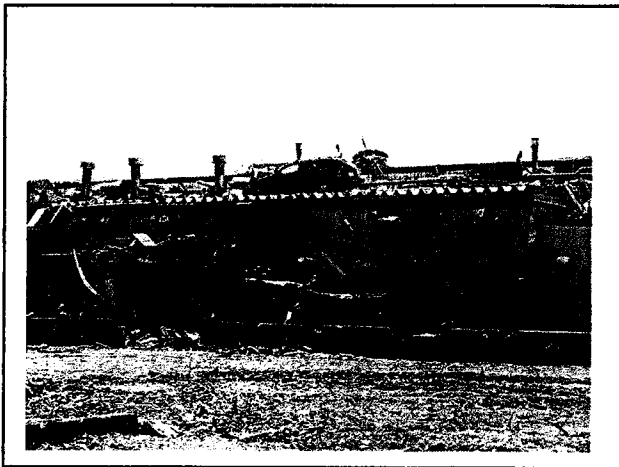
キュービクル内部



キュービクルの内部







震災時のライフライン状況

- 電気 地震と同時に停電
- 通信 携帯電話 40分後位に不能
固定電話 停電と同時に不能
- 水道 1時間後位に断水(配水池が近い為の出水でした)

地震発生後の状況

- 私の住まいは小高い丘のために地震、津波による直接被害はありませんでした。
- 一時的にはどこにでも行くことが出来ず陸の孤島化になり避難所はどこもいっぱいのごったがえ状態で食料、水不足と寒さとの戦いでした。
- 私は避難してきた友人と家族を別の場所に避難させて、発生している火事の警戒のために翌朝まで警戒にあたっていました。

- 地震発生から4日間は鎮火せず警戒の連続でした。仲間とは連絡がとれず、交通は徒歩と自転車での状態でした。

- 携帯電話が通じたのは3日後でソフトバンクのみの機種でAU、ドコモは通信が不能でした。
- (その状態はしばらく続きました)

ライフラインの復旧状況

- 始めに私の周囲状況は被害が殆んど無く他の地域と違って早く復旧しました
- 電気 8日目(3/19)
- 水 11日目(3/22)
- 携帯電話 8日目(3/19)
- 固定電話 12日目(3/23)
- 都市ガス 40日目位でした

- 震災後1週間後頃から幹線道路(一部だけ)のガレキが無くなり車の通行が可能となりました。
- ガソリンは被害の無かったスタンドでの給油所で20Lの制限で2~3時間待ちで、また予定数量での販売終了で買えなかった方もた始末です。

管理技術者としての必要事項

- 1. 衣食住の完全確保 食品と水は家族に合わせて2～3週間分の準備が理想的。
- 2. まずはじめに仲間同士の通信の確保をどうするか？
- 3. 車と測定器の貸し出し品の調査と準備。(仲間同士での融通が出来る体制作り)

- 4. 発電機,ライト,乾電池,携帯電話の充電装置の確保
- 5. ガソリンの確保,緊急車両証明書の確保
- 6. その他

本日の研修が参考になれば幸いです
ご静聴ありがとうございました。

